

2026 年 10 月 1 日

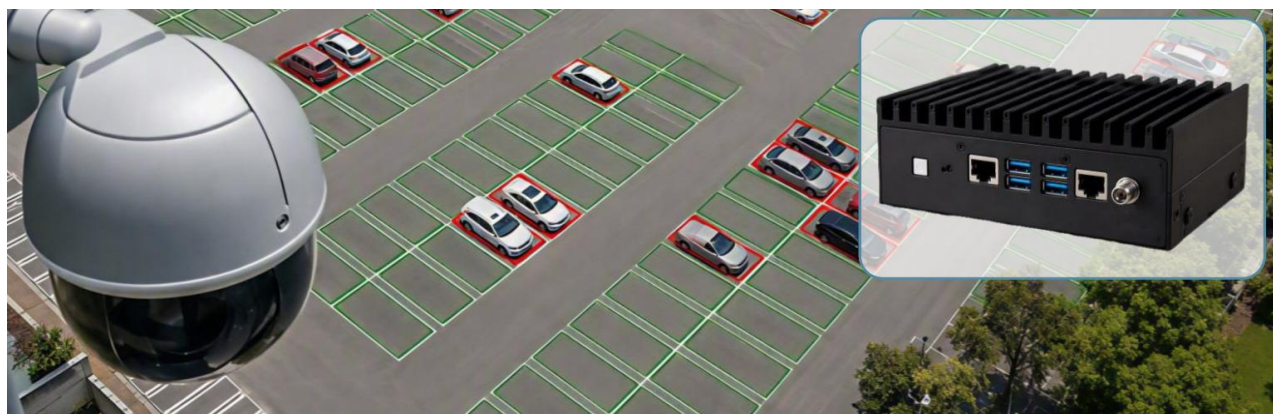
各位

オブテックスグループ株式会社
東証プライム 証券コード:6914

オブテックス(株)、屋外の大規模駐車場向け『AI カメラ満空管理システム』を発売 ～ オブテックスグループの技術シナジーで水平統合型ソリューションを実現 ～

当社の 100%子会社であるオブテックス株式会社（本社：滋賀県大津市、代表取締役社長：池田 和男、以下「オブテックス」）は、駐車場の規模や設置環境に応じた車路管制ソリューションを強化するため、2026 年 10 月 1 日より『AI カメラ満空管理システム』を発売いたします。オブテックスグループ各社が有する AI 画像解析、駐車場の満空管理・車両誘導、車両検知センサーの技術・販路を組み合わせ、少ない機器で広範囲の駐車状況を可視化するとともに、屋内外を一元管理できる提案を実現します。

本システムの追加により、これまで以上に駐車場の規模、構造、設置環境、求められる管理単位に応じて、施工性、コスト、検知精度、運用性のバランスを考慮した提案が可能となります。



AI カメラ満空管理システムの画像解析と製品イメージ

■開発の背景

オブテックスは、コインパーキング向けの機器販売と、大型商業施設や公共施設などに向けた車路管制システムの販売を展開してきました。近年は、従来の車両検知センサーに加えて、AI カメラや画像解析技術を活用した駐車場の満空管理へのニーズが広がっています。

こうした市場要求に対応するため、既存の車両検知センサーと販路を生かしながら、AI カメラ満空管理システムをラインアップに追加します。これにより新規需要に加え、従来方式では施工や設置条件の面で対応が難しかった案件への提案を強化します。

■ 本製品の特長

① グループシナジーによる水平統合型ソリューションの提供

『AI カメラ満空管理システム』には、オプテックスグループのサンリツオートメーションが持つ AI 画像解析技術を活用したエッジ AI^{※1}を採用しています。

本エッジ AI は、システムの核となる製品としてエクノスのプラットフォーム^{※2}への接続機能を備えています。カメラによる広域管理と、グループ各社の車両検知センサーによる車室単位の管理を同一のプラットフォーム上で一元管理することで、駐車場の規模、構造、設置環境に応じて複数の検知方式を柔軟に組み合わせられる水平統合型ソリューションを実現できます。

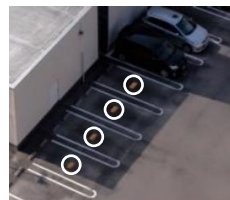


車両誘導システムのイメージ

※1 クラウドではなくエッジ PC で AI による画像解析を行い、車両の有無をリアルタイムに判定する技術

※2 オプテックスグループのエクノスが保有する、通信機能付きコントローラや管理ソフトウェアなどで構成されるプラットフォーム

また、ソーラーカーポートや植栽などによってカメラの死角となる車室には、オプテックスの車両検知センサーを組み合わせることができます。それぞれのセンサー特性を生かして相互に補完することで、施設全体に適したシステムを構築します。



② 広域な駐車場管理の設備導入コストを削減

監視カメラの映像を、エッジ AI を搭載した機器で解析し、駐車車両の有無と駐車場の混雑状況を可視化します。

車室ごとにセンサーを設置する方式と比較して、少ない機器で広い範囲を監視できるため、主に大規模・中規模の屋外駐車場への導入を想定しています。**1 台のエッジ AI に最大 4 台のカメラを接続でき、最大 200 車室を処理します。設計上の検知率目標は 95%以上です。**

③ NDAA に準拠

本製品は、米国国防権限法（National Defense Authorization Act）で規定される対象企業の通信機器・映像監視機器を使用しない構成を採用しており、高いセキュリティ要件が求められる施設や公共施設への導入にも、安心してご検討いただけます。

■ 主な仕様

製品名	AI カメラ満空管理システム
型式	C-POD-ADJNO8L
主な用途	屋外駐車場の満空管理、混雑状況の可視化、車両誘導システムとの連携
主な仕様	カメラ最大 4 台、最大 200 車室、検知率目標 95%以上
発売日	2026 年 10 月 1 日
希望小売価格	オープン価格

製品詳細 URL : <https://www.optex.co.jp/products/vehicle-detector/full-empty-edge-ai.html>

■今後の展望

オブテックスは、エクノスおよびサンリツオートメーションとの連携をさらに深め、各社の技術を組み合わせることで、駐車場の規模や設置環境に応じた車路管制ソリューションを展開してまいります。オブテックスは本システムを5年で60,000車室へ提供する計画です。

■各社の会社概要

オブテックス株式会社

セキュリティ、自動ドア、水質、車両検知センサーなど特定用途向けの製品やアプリケーションを提供するセンサーメーカーです。また、センサーから得られるデータを活用したソリューション提案を展開しており、経済産業省が選定する『グローバルニッチトップ企業100選』に2回連続で選出されています。

URL : <https://www.optex.co.jp/>

サンリツオートメーション株式会社

オブテックスグループ株式会社のグループ会社として、産業用組込みコンピュータを核に、CPUボードや制御装置、アプリケーション・システムを提供しています。また、自動車生産工場や社会インフラ向けシステム、医療機器、ロボット、画像センシングなどの開発を手掛け、設計・開発から導入・保守まで一貫したソリューションを展開しています。

URL : <https://www.sanritz.co.jp/>

エクノス株式会社

オブテックス株式会社が2023年4月に全株式を取得し、子会社化しました。駐車場管理・誘導システムを専門に、車両検知センサー、満空表示装置、誘導機器、管理ソフトウェアの設計・開発・販売を行うメーカーです。屋内・屋外を問わず、駐車状況のリアルタイム把握とスムーズな車両誘導を実現し、大型商業施設や空港、公共施設などへの導入実績を有しています。

URL : <https://www.exnos.co.jp/>

オブテックスグループは、6つの事業会社をグループとした純粋持ち株会社です。



■ 本件に関するお問い合わせ先 ■
オブテックス株式会社 広報・販促課
e-mail : oj-pr@optex.co.jp
URL : <https://www.optex.co.jp/>

APPENDIX

■ 満空管理システムについて

オプテックス株式会社の満空管理システムは、地面設置型センサー、ポール設置型センサー、屋内用超音波在車検知センサーなど、さまざまな車両検知方式によるシステムをラインアップしており、それぞれ異なる強みがあります。今回、新たに AI カメラ満空管理システムを加え、オプテックス株式会社は特定の方式に限定せず、屋内と屋外、車室単位とエリア単位、新設と既設改修などの条件に応じて、複数方式を組み合わせた提案を行います。

センシング方式	主なメリット	主な適用領域	製品イメージ
Viik Parking System (地面設置)	無線方式により配線負荷を抑え、 車室単位で管理可能	小規模・中規模の 屋外駐車場	
OVS シリーズ (ポール設置)	雨や雪などの環境変化に強く、 車室単位で管理可能	小規模・中規模の 屋外駐車場	 Viik Cell
超音波在車検知センサー (天吊り型、招き灯一体型)	車室単位の満空管理と車両誘導 に対応。大規模施設にも適用可能	大型商業施設、空港、 立体・屋内駐車場	
AI カメラ満空管理 システム	広範囲を少ない機器で監視可能	大規模・中規模の屋外 駐車場	